



ふれあい



三二版通算 第51号

令和5年1月1日発行

発行

田名地区社会福祉協議会
相模原市中央区田名 4834 番地
(田名まちづくりセンター内)
電話：042-713-3690

市地区社会福祉協議会 創立70周年記念 『さがみはら地域福祉発表会』 田名地区社協 中央区代表として動画発表 令和4年11月19日 あじさい会館

相模原市内の全22地区社協の活動を幅広く紹介する為、それぞれが10分程度の動画を制作。集まった動画から中央区代表として田名地区社協が選出され、あじさい会館で動画発表と補足説明、パネラーとの質疑応答が行われました。広報部会が中心となり、ふれあい・交流を目的とした事業展開をテーマに、ナレーションとBGMは田名中学校生徒に協力を依頼。たなワン安心パトロールや、子ども達と共に歩む地域活動、ボランティア活動などの取り組みに、会場は心温まる多くの拍手に包まれ、とても感動的でした。田名地区社協の紹介動画は、住民交流の場「和い輪い田名」でご覧になれます。



福祉ねっとわーく推進部会

つながりを持てる場所 ～居場所づくりからはじめよう～ 「ほっとカフェしみず」



より小さな区域で新たな見守り・支え合い活動ができないかと検討し、気楽に立ち寄れて居心地の良い場所「ほっとカフェしみず」が、清水地区のボランティアさんを中心にモデル地区として始まりました。何気ない会話の中から、お困りごとや心配ごとなどを聞き、できることはサポートし、田名ボランティアセンターや関連部署へつなげることができればと考えています。どなたでもお気軽にお立ち寄りください。



ほっとカフェしみず

日時：毎月第3金曜日
午後1時から4時
場所：清水自治会館
利用料：100円

和い輪い田名運営部会

どなたでも気軽に過ごせる 住民交流の場 「おでかけ和い輪い田名」

『和い輪い田名』は、開所1年が経過しましたが、利用者の少ない地区に出向く『おでかけ和い輪い田名』として出張PRを計画。新宿自治会館で行いました。

当日は回覧板等で開催を知った20名が参加。包括支援センターの相談会もあり、「ひさしぶりね」とお茶を飲みながら、ゆっくり和気あいあいと過ごしました。

これを契機に新宿自治会では、おしゃべりサロンの設立が計画されています。



視察研修

日本フードエコロジーセンター・相模原市南清掃工場 見学



11/24(木)日本フードエコロジーセンター(田名塩田)と南清掃工場(南区麻溝台)を会員30名で視察研修へ行きました。日本フードエコロジーセンターでは、食品廃棄物を液体状の豚の飼料に製造していました。まだ食べられるようなパン、野菜、麺類、果物、牛乳等が混ぜられ、砕かれてドロドロになって豚の飼料になっていく工程はインパクトがありました。捨てられてしまう食品を豚の飼料にすることによる、「循環型社会」の構築に貢献し、「ジャパン SDGs アワード」最優秀賞を受賞している素晴らしい会社が田名塩田にあることを誇らしく思いました。次に、相模原市のごみの焼却処理施設の南清掃工場を見学しました。この2工場を視察研修して、私たちは食品ロスや多くのゴミを発生させていると感じたと同時に家庭ゴミの削減に取り組まなければならないと思いました。

田名ふれあい交流農園

地域の子ども達を招いて 楽しかったよ！おいもほり



*焼き芋はもみ殻で焼いてるよ！ *お土産のポップコーン作り

農園を運営するボランティアグループ『田名畑の会』では、11/12(土)中心子どもの家の子ども達を招いて、さつまいも・里いもの収穫体験と焼き芋試食会を開催しました。天気に恵まれ、集まった子供たちは広い畑を駆け回り大喜び。どろんこになって超ビッグなさつまいもを収穫した男の子は「これは僕が食べるよ！」また、女の子は「この焼きいもは、今まで食べた中で一番おいしい！幸せ♡」と満面の笑み。最後には出来立てポップコーンや手作り品のお土産をもらって、楽しいひと時を過ごしました。

地域交流

田名小2年生 『和い輪い田名』を まち探検！



11/24(木)田名小2年生(3グループ約15名)が生活科の授業で「和い輪い田名」を訪れました。「ボランティアは何人ですか?」「何ができますか?」「おもちゃはありますか?」「どうして子どもは無料ですか?」「ボランティア活動してどんな気持ちになりますか?」など、沢山の質問が出ました。質問の回答を熱心にメモしたり、興味津々に室内を探検していました。子どもさんたち、気軽に遊びに来てくださいね。



地域交流

田名小学校 PTA 主催 『田名っ子フェスティバル』に参加



11/19(土)田名小学校PTA主催「田名っ子フェスティバル」が開催され、田名地区社協はSDGsパートナーのつながりで「缶バッチ作り」と「ポッチャ体験」を企画し参加しました。2時間の開催中、参加する子どもの列は、ほぼ途切れることなく、用意した缶バッチのパーツが無くなりやむなく終了する程の盛況でした。ポッチャは子ども達にもわかりやすいよう若干ルールを変更し行いましたが、審査員のボランティアが休憩を取る間もないくらい盛り上がりました。